

おかやま黒豚の繁殖成績の推移：畜産研究所 佐々木
真也

【目的】県内養豚農家におかやま黒豚の種豚や精液を供給するため、効率のよい子豚生産が必要。これまで畜産研究所で繁殖成績を元に選抜、改良してきたパークシャー種（B種）母豚について過去10年の成績を調査。【方法】平成25年度から令和4年度に至る当研究所のB種の①生産成績（総産子数、生存産子数、離乳頭数）②母豚受胎成績（受胎率、発情再帰日数等）を調査。【結果】平成25年度から令和3年度まで成績は伸び悩んでいたが、令和4年度の一腹当たりの離乳頭数は8.1頭と改善。選抜、改良に加え、授精方法の変更、衛生管理及び衛生管理の徹底による効果と思われた。